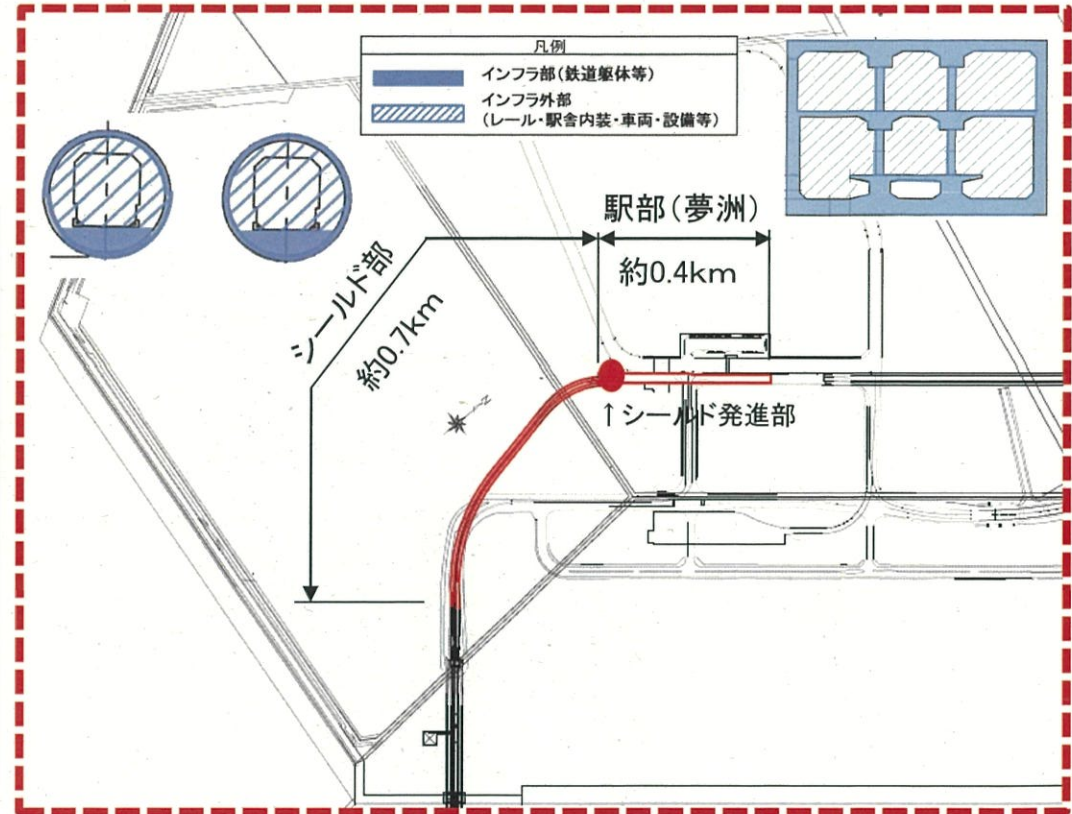
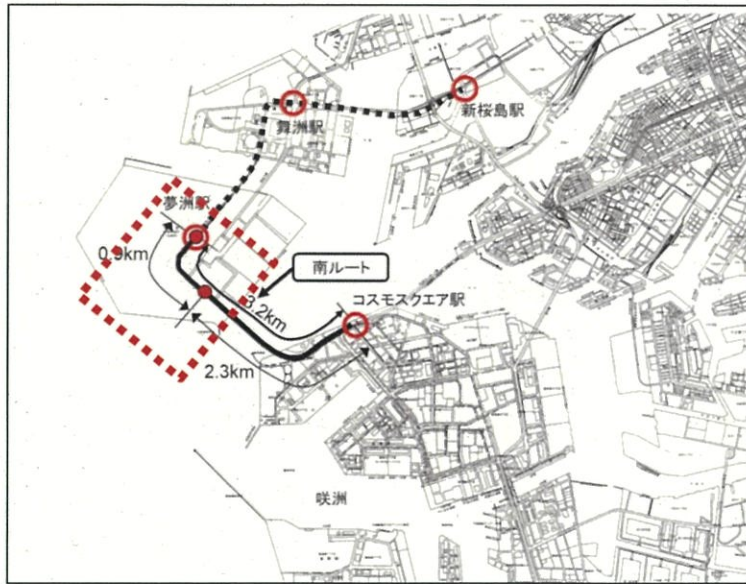


北港テクノポート線(コスモスクエア～夢洲間)の整備概要

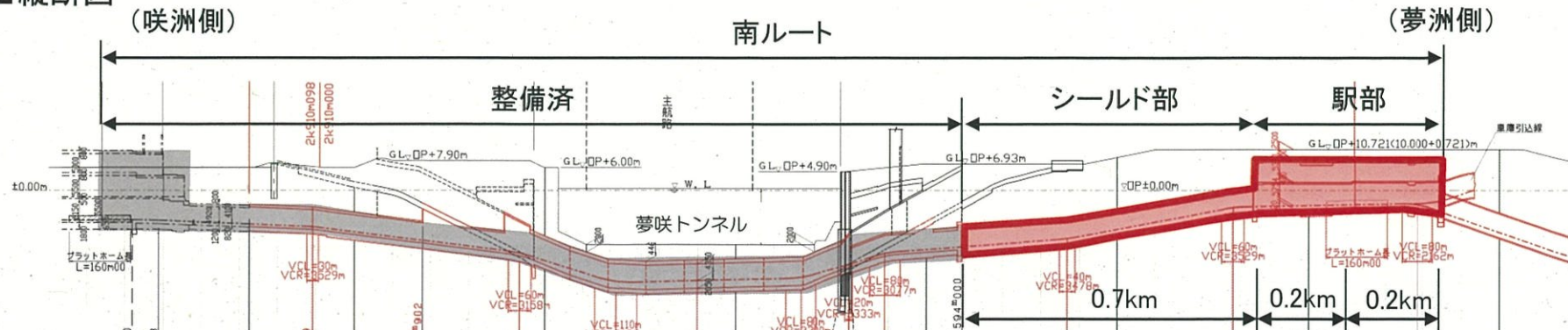
(事業再開区間) 事業区間延長7.5km(コスモスクエア～新桜島)の内、南ルート3.2km(区間:コスモスクエア～夢洲)

(事業スキーム) インフラ部(鉄道躯体等):大阪市/インフラ外部(レール・車両等):((株)大阪港トランスポートシステム(OTS))

■ 平面図・断面図



■ 縦断面図



駅前施設整備

■事業概要

本事業は、将来のまちづくりを見据え、(仮称)夢洲駅から国際観光拠点の開発用地にアプローチするために必要な恒久的な施設として、万博後も活用できる駅前施設を、万博開催に間に合うよう整備するものである。

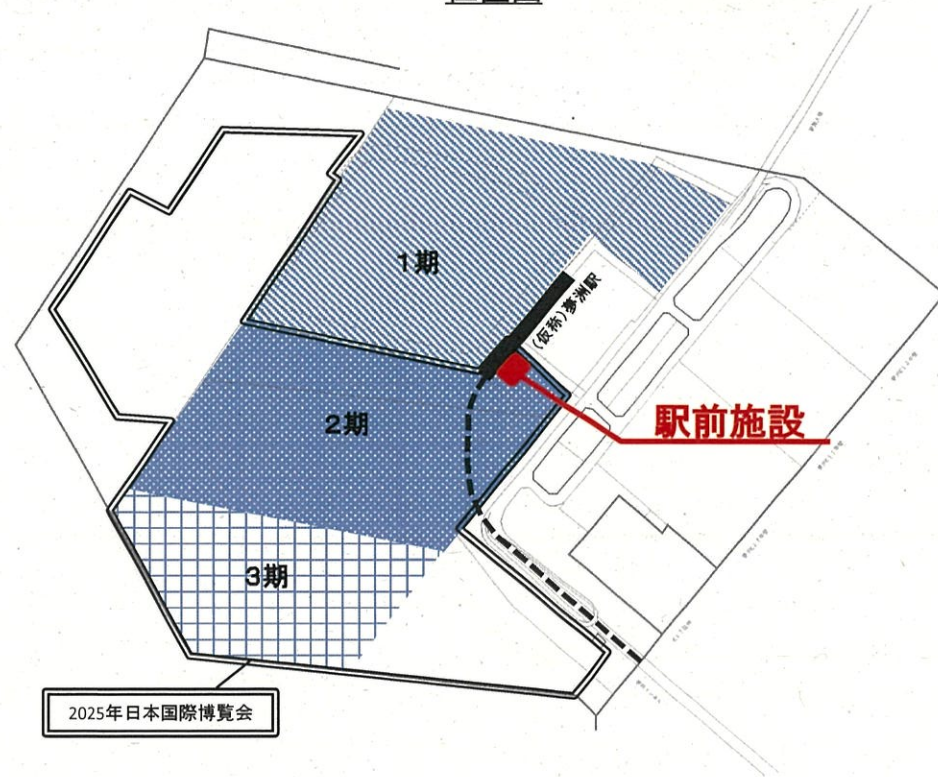
【駅前施設(想定)】

施設規模 : 約1,400㎡

整備内容 : 地下広場、階段、昇降機、屋根等

※具体的な整備内容については、令和3~4年度に実施する設計業務において、夢洲駅や万博施設との景観上の調和を図りつつ、将来の国際観光拠点(2期以降)の開発や万博開催に必要な規模を検討し決定していく予定であり、今後変更の可能性がある。

位置図



スケジュール

令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
	設計	工事		万博

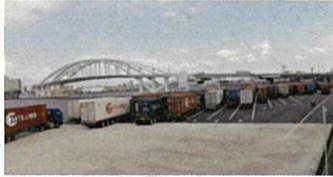
万博開催時の物流交通対策(案)

○道路上に滞留する入場待ちコンテナ車両の滞留抑制対策 → ①②③④

○夢洲発着のコンテナ車両の削減に資する対策 → ⑤

(※2)
R4.1.31に全体
供用開始

②車両待機場の整備(※2)
(240台分確保)



①CONPAS(※1)の導入
(ゲート処理時間の短縮等)

(※1) Container Fast Passの略
R4.1.27,28に第1回試験運用を実施
R5年度の常時運用を目指す

⑤咲洲ヘシフト

③ターミナルゲート時間延長
(30分で最大200台分散)



(通常) 平日: 8:30~11:30, 13:00~16:30
土曜: 8:30~11:30

②車両待機場の整備
(150台分確保)

④荷捌き地の拡張(ゲート増設)
(ゲート前待機スペース100台分確保)
(ゲート増設により、1時間当たり120台削減)



⑤咲洲ヘシフト(※3)

- ⑤-1. 船舶着岸場所の咲洲シフト
- ⑤-2. 空コンテナ返却場所の咲洲シフト

(※3)
夢洲発着のコンテナ車両
現状 約 9,000台
将来 約12,800台
万博時は約12,800台のうち、
約3,000台をシフト

(写真はイメージ) ≪③ゲートオープン時間の延長、⑤咲洲ヘシフトは万博期間中のみ対策≫